



新春のあいさつ



新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、平成31年の新春を晴れやかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、7月の豪雨災害により、本市において600棟を超える建物被害をはじめ、道路や橋梁等のインフラ、基幹産業である農林水産業にも甚大な被害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、ボランティアをはじめ、災害直後から様々な形でご支援いただいた各種団体、個人の皆様に厚く御礼申し上げます。現在も復旧作業が続いておりますが、引き続き復興に向けて全力で取り組むとともに、この経験を糧として、災害に強いまち

あけましておめでとうございます。皆様方には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、宿毛市議会の運営に際しまして、格別のご理解とご支援を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、平昌オリンピックにおける選手の活躍やサッカーワールドカップロシア大会のグループリーグ突破、そして京都大学の本庶佑特別教授がノーベル医学生理学賞を受賞されるなどの明るい喜ばしいニュースがありました。

その一方で、6月には大阪北部地震、7月には平成30年7月豪雨、9月には台風21号、北海道胆振東部地震

づくりを推進して参ります。

さて、市役所新庁舎の高台移転についてであります。市役所内での検討、有識者による庁舎建設審議会での審議、そして住民説明会での意見交換等を経て、昨年、9月定例会において小深浦高台への新庁舎建設が承認されました。この決定に至るまで、多くの議論や検討を行う過程で、多くのご意見をいただきました。今後は新庁舎建設を進める中で、さらに市民の皆様の意見を聞きながら、災害に強く、誰もが住みよいまちづくりを進めて参ります。

また、10月には国土交通省による四国横断自動車道・宿毛く内海間の第2回アンケート調査が実施され、第

があり、多くの方がお亡くなりになりました。平成30年7月豪雨においては宿毛市の観測史上最多雨量となる3時間263ミリを記録し、「大雨特別警報」が発表され、市内においても床上浸水、家屋損壊、道路・河川の損壊、基幹産業のひとつである養殖魚や文旦等の果樹園などにも非常に大きな被害が発生しました。被災された皆様に對し、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

本市におきましても、近い将来発生が予想される南海トラフ地震等に備えた防災対策に、これまで以上の危機感をもって取り組んでいかなければなりません。

一回に引き続き、多くの方々にご回答いただきました。これにより、新規事業化に向けて大きく前進し、近々概略ルート、構造等の決定が行われるものと思えます。この自動車道整備は、経済活性化のために必要不可欠な社会資本であり、防災上の観点からも重要な基盤整備であります。今後も国、県と連携し、新規事業化に向けて取り組む所存です。

加えて、新庁舎建設とあわせて自動車道延伸の効果を最大限に発揮できるように宿毛市のグランドデザインである都市計画マスタープランの改訂を早急に進めて参ります。

あわせて、昨年より各団体の皆様に、市内各所に花を植え、育ててい

さて、本年は5月1日に皇太子さまが即位され新たな元号となり、日本国として大きな節目となる年であります。本市におきましても、4月に市議会議員選挙、12月には市長選挙があり、市政の節目となる年であります。

本市が将来にわたり活力ある社会を維持していくためには、人口減少に歯止めをかけ、住みよい環境を確保していくことが極めて重要であります。

本市議会といたしましても、市政の一翼を担い、その役割を十分に果たすことで、市政の健全な発展と市民福祉の向上に寄与していかなければならないと決意を新たにしています。

ただ、「宿毛でお花おもてなし事業」を始めました。これは宿毛に來られる方々をきれいなお花でお迎えするため、市民の皆様とともに環境美化を行う事業です。さらに本年は宿毛の豊かな自然を活かした観光アクティビティ事業を推進し、交流人口の拡大を図るとともに、市民と一体となって、賑わいに満ちた宿毛のまちづくりを進めて参りますので、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本年が素晴らしい年となりますよう心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

宿毛市長 中平 富宏

ところであります。我々議員一同、今後とも議会活動に鋭意取り組んで参る所存でありますので、なお一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、新しい年が、皆様方にとりまして穏やかで良き一年でありますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

宿毛市議会議長 岡崎 利久